

# 抜歯説明同意書

抜歯をお受けになる患者様へ

- 1. 術後 2~3 日が腫れのピークで多くの場合 1~2 週間後には消退します。
- 2. 抜歯後、腫れに伴い一時的に口が開きにくくなることがあります。
- 3. 術後の出血に伴い、頬に内出血斑が生じることがあります。  
これは一時的なもので、約 2 週間程度で自然に消退します。
- 4. 創部を縫合した場合は 7~14 日後に抜糸をします。
- 5. 強くうがいをしたり、炎症があった歯を抜いた場合は、抜歯窩の骨が露出して「ドライソケット」と呼ばれる状態になりやすく持続的な痛みを生じることがあります。
- 6. 抜歯中に隣の歯が脱臼してしまうことがあります。  
被せ物をしている場合には、破折・脱離の可能性もあります。  
抜歯後、知覚過敏などの症状が隣の歯に現れることがあります。
- 7. 下顎智歯の場合、手術した側の下唇や歯肉、歯に感覚異常や、  
知覚鈍麻が生じことがあります。これは抜く歯が下顎の中を通っている  
神経に近接しているため生じるもので、軽いしびれが残ることもあります。  
「親知らず」の抜歯については、発生頻度が 0.6%程度と報告されています。
- 8. 下顎智歯の場合、まれに舌のしびれが生じる可能性があります。  
発生頻度は 0.1%程度と報告されています。

- 9. 上顎臼歯の場合、歯根と鼻の横の上顎洞（副鼻腔のひとつ）が近く、拔歯窩と交通し、水や空気が鼻から漏れることがあります。
- 10. まれに術後しばらくしてから創部から出血することがあります。ガーゼ等を噛んで圧迫しても止血できない場合は当院までご連絡ください。  
当院診療時間外の場合は近隣の病院口腔外科もしくは口腔外科のある病院救急の受診をお願いします。
- 11. 術後感染により治癒期間が伸びる可能性があります。  
拔歯後の感染により1～2ヶ月後に再度腫れる可能性が1.6%と報告されています。腫れが発生した際は当院までご連絡ください。
- 12. レントゲン画像などの治療に関わる資料を論文、学会発表、書籍の執筆等に個人が特定できない形での使用に同意します。

上記の説明を受けて、理解した上で今回の抜歯に同意致します。

年                  月                  日

患者氏名 \_\_\_\_\_

(保護者名) \_\_\_\_\_